成果の説明書

(氏名) 服部 昌彦

(学部) 経済学部

1 重要事項

・ 不完備情報ゲームにおける学習行動

ゲームの構造の一部が分からない不完備情報ゲームにおけるプレイヤーの学習行動に 関する分析を行った。学習方法には、最適反応学習、思考錯誤学習、模倣学習などが あり、それぞれの学習方法による均衡の変化について分析した。

また、ミニポーカーを用いた実験では、被験者の学習が進まず、確率的な状況に おける学習の難しさを明らかにした。一方で、プレイヤーの集団は混合戦略の ナッシュ均衡に近い戦略を取っており、利得を最大化できないが、相手がどんな戦略 を取ってきても利得が安定する戦略を取っていると評価できる。

2 その他の事項

- ・書評「岡室博之+西村淳一/著『研究開発支援の経済学』有斐閣」 経済セミナー733 号(2023 年 8・9 月号)
- ・ゼミにおける外部講師や企業見学の実施 実際のビジネス現場を肌で感じるために企業見学や社会人による外部講師の講演を 実施
- ・集中した調査、発表の時間を確保するためのゼミ合宿の実施
- ・大学院進学を検討する学生への指導、情報提供
- 3 次年度以降の計画・抱負
- ・不完備情報ゲームにおけるプレイヤーの学習行動を理論的に分析する
- ・学生の主体的学習態度の養成
- ・理論だけでなく、フィールドワークを行い、学生の経済への理解を深める